

地方部への移住にみる地域の魅力

総合技術政策研究センター

建設経済研究室 研究官 大橋 幸子 (室長 (博士(工学))) 竹谷 修一



(キーワード) 地域の魅力、UJIターン、移住、定住、意識調査、国土マネジメント

2.

成熟社会への対応

1. はじめに

UJIターンと呼ばれるような地方部へ移住の例が見られるようになり、地方部の魅力が見直されている。そこで本研究では、多様化する地域、国民の価値観を踏まえた社会資本整備を目指し、将来の新たな潮流の一つと考えられる地方部への移住者の意識調査を通じて、地域の魅力を分析することとした。事例調査として、移住支援に積極的に関わり、これまでに多くの移住者を迎えている福島県小野町、鳥取県日南町、鹿児島県垂水市において調査を行った(図1)。



図1 調査地域

2. 移住者の価値観

移住者が生活を営む上で重要と考える価値観を調査した。そのうえで、世論調査である国民生活選好度調査と比較し、移住者に特に見られる傾向を分析した。

本調査における移住者の特徴を図2に示す。移住に際しては、移住者は職の有無ややりがいを重

視しており、休暇と余暇も充実した環境を求めている。移住先の検討においては、生活環境を重視するとともに、地域での人づきあいがうまくいか不安を感じていた。移住後の生活の中では、家族や生活環境などの日常をとりまく環境や、地域の中での人間関係を重視していた。

3. 移住理由にみる地域の魅力

移住理由についてインタビュー調査を行い、移住者から見た地方部の魅力を分析した。結果の一部を表1に示す。本調査における移住者の意識からは、「地方部の物的資源の享受」、「地方部の物的資源の活用」、「地方部の人的資源への貢献・帰属」を実現できる環境が、地域の魅力となっていることが分かった。

表1 移住理由にみる意識

インタビューにおける発言	特徴
・温泉のために来たようなものだ。 ・食べるものが、身近にあることが魅力	地方部の物的資源を享受したい
・以前から有名な自然農法に興味があった。 ・観光資源を生かした事業をしたかった。 ・地元の野菜の今まで感じたことのないおいしさに感動した。食材としてもっと広めたい。	地方部の物的資源を活用したい
・やりたい仕事があり、必要とされている。 ・医療福祉分野の先進的な取り組みに興味を持ち、ここで働きたいと思った。	地方部の人的資源に貢献・帰属したい

4. おわりに

今後は、本調査でみられたような地域の魅力を踏まえ、地域間連携・交流による地域の魅力向上、課題解決についての調査に取り組む予定である。

【参考文献】

大橋ほか：地方部への移住者の価値観の特徴に関する研究、土木学会論文集F4特集号、Vol. 67、No. 4、2011. 12
大橋ほか：地方部への移住者の意識にみる地域の魅力に関する調査、土木計画学研究・講演集、Vol. 44、2011. 11

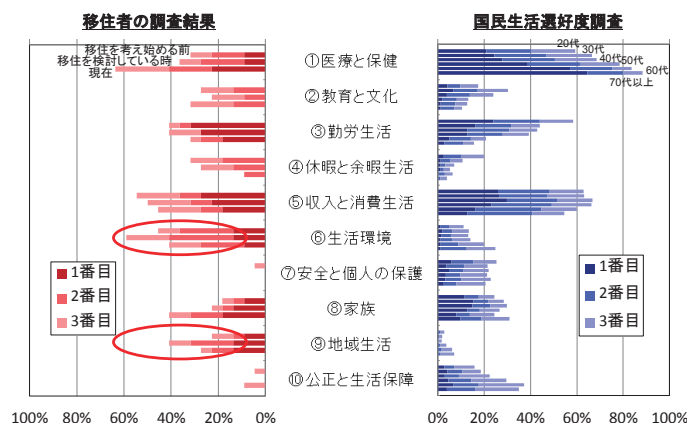


図2 移住者の価値観(重要と回答した領域)